

シルバーきりゅう

第41号



互助会作品展（有鄰館味噌醬油蔵）

社団法人 桐生市シルバー人材センター

理事長就任のあいさつ

田村 陽子



平成22年度5月26日通常総会において理事の選任により福田理事長の後任として就任いたしました。無力な私ですが歴代理事長の多大な功績を汚すことなく桐生市シルバー人材センターの更なる発展を願い勤める所存でございます。

県内では特に桐生市の高齢化が進み当センターでは生きがいの場としての高齢者の受け入れや就業機会の確保などいろいろ考えると重責を感じ身の引き締まる思いです。

就業については桐生市との連携による企画提案事業やセンターの独自事業をたちあげ実施となりました。この独自事業を更に拡大し就業機会につなげられればと思います。

また、サークル活動にも参加し健康で楽しい人生を送りたい。これからは皆様と共に夢や希望を沢山持って進んで参りたいと思います。引き続き是非お力とお知恵をいただき更にご指導いただければ幸いと存じます。

最後にシルバー人材センターの発展を願い就任の挨拶とさせていただきます。

理事長退任のあいさつ

福田 金次郎



この度、任期満了をもちまして理事長を退任することになりました。前任の寺内理事長から理事長の任を受け継ぎ、13年間の長きに亘って職責を大過なく果すことが出来、大変有難く思っております。

微力な私を陰に陽に支えて下さった職員の皆様、会員の皆様のお陰があったればこそと、深く深く感謝している次第であります。

後任の理事長になられた田村陽子さんは人格・識見共に立派な方であり、これからのシルバー人材センターがますます社会の為、人の為に発展されるであろうと確信しております。

シルバー人材センターの自主・自立・共働・共助という基本理念は今、まさに高齢化時代に不可欠であります。一般社会に於いて信頼され愛され、事業に限りなく向上されることを祈り、私もこれからは今迄の経験を活かし陰ながら力添えを尽す所存であります。

これからも、シルバー人材センターへのご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、退任の挨拶と致します。

事務局長就任のあいさつ

桑原 秀夫



この度、4月1日付けで大橋事務局長の後任として就任いたしました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。当センターにお世話になってから数ヵ月が経過しようとしておりますが、日頃感じていることをいくつか述べさせていただきます。

まず、安全就業を挙げさせていただきます。「安全はすべてに優先する」この原点に立ち返り、会員の皆様に適した仕事を提供し、安全第一で生きがいのあるセンターを目指します。安全委員会、安全パトロールの強化、また職群班のリーダー育成も重要ですが、会員の皆様一人ひとりが安全就業基準をいま一度良くご理解いただき「安全就業」に対する自覚喚起が最も必要であると思います。交通災害の防止、安全保護具の着用を会員の皆様にお願ひいたします。

最近の経済・雇用情勢の下でセンターに入会を希望する会員は増大する一方で、民間部門を中心に受注額の減少、さらに「事業仕分け」における補助金の削減など厳しい運営が続いています。このような中で企画提案方式事業として、「シルバーさぼりと隊」及び「桐生シルバーふれあい農園」また独自事業として、手作り工芸品販売がスタートしましたがこれらの事業の確立・定着は当センターの重要課題であります。

さらに、公益法人制度改革に対応するシルバー事業の見直し、規程の整備、会計処理の対応などにも取り組みます。また会員互助会役員・センター理事の皆様にご協議いただいている「シルバーまつり」については今秋開催に向けさらに煮詰めていかなければなりません。

課題山積みではありますが、より一層地域に根ざした信頼されるセンターとなるため職員一丸となり直面する諸課題解決に鋭意努めますので、会員の皆様方のご指導、ご鞭撻をお願ひ申し上げます就任のあいさつとさせていただきます。

事務局長退任のあいさつ

大橋 昭雄



この度、3月末日をもちまして、事務局長を退任いたしました。在任中は会員の皆様をはじめ理事の皆様、事務局職員のご指導、ご支援をいただきこころより感謝申し上げます。

振り返ってみますと、私が就任時は桐生市新里支所改築に伴いセンター新里支所を現在地に移転やシルバー派遣事業の導入が決定されました。また、平成21年度には、国の企画提案方式による事業を検討するため会員による検討委員会を組織し研究・検討を行った結果、桐生市との連携による「桐生シルバーふれあい農園」、「シルバーさぼりと隊」事業及び独自事業として「手づくり工芸品」販売事業が平成22年度より着手されることになりました。このことは、皆様のご理解ご協力の賜であり当センターにとって画期的なことでありました。

また、楽しいセンターづくりの実現に向けて、シルバーサロンの開設や5つのサークル活動の発足、みどり市とのグラウンドゴルフ交流大会等皆様との楽しかった思い出となっております。

これからも、桐生市シルバーセンターの益々の発展と会員の皆様、役職員の皆様のご活躍をご祈念いたしまして、退任のあいさつとさせていただきます。

さて、私は引き続き桐生市シルバー人材センター理事及び「桐生シルバーふれあい農園」園長として就任することになりました。今後も、今まで同様ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

平成 22 年度 第 1 回通常総会 会員互助会通常総会



平成 22 年 5 月 26 日桐生市文化会館スカイホールにて通常総会が開催された。福田理事長の挨拶のあと会員表彰（42 名）があり代表の森下長太郎さんが謝辞をのべられた。続いて桐生市長はじめ来賓より祝辞をいただき議事に入った。

平成 22 年度の事業計画については、平成 22 年 3 月 25 日中央公民館の総会にて平成 21 年 3 月 27 日に定められた中長期計画の三つの基本的課題を引き続き実践する。

高齢者を積極的に受け入れる

全会員が年間を通じて就業できる

全会員が健康で楽しい生活を送る

続いて収支予算・企画提案事業の運営要項が提案され、すべてが承認可決されました。

議長の皆川さんの進行により平成 21 年度の事業報告があり中長期計画の初年度として実践につとめた。しかしシルバー人材センターを取り巻く社会情勢は一段と厳しい状況があるとの報告があり続いて平成 21 年度収支決算の報告があり承認可決された。

さらに役員を選任が行われ理事長・理事の交代がありました。その後シルバーさぼ一と隊・ふれあい農園について現在の状況説明があり閉会となった。

続いて会員互助会通常総会が行われ、21 年度の事業報告・22 年度の事業計画、役員を選任等が承認され、全日程が無事終了した。

「シルバーさぼーと隊」発足！

シルバーさぼーと隊 隊長 小川 勝

多くの高齢者や障害者の期待を受け、隊員数 36 名の「シルバーさぼーと隊」が桐生市長ご臨席の場で産声をあげたのは、5月のことでした。

桐生広報を読んですぐに反応があり、センターへ電話がきて、希望・要望を聞いて皆川さんを第一番の隊員とし、相生方面へ行きました。発注者の方は紫外線に非常に弱く、外での作業が困難とのことでした。私たちは植木鉢の移動とその下側の清掃を済ませました。その他雑草や時期を過ぎた菜葉類を花壇から取り除きました。その方の感謝する気持ちが痛いほど私たちに伝わってきました。その間サポート隊の仕事が何件かすみ、茂木治さんと行った方の電気（蛍光灯）の交換が印象的でした。その方は足が不自由の様子でしたが、私たちの到着を首を長くして待っていた様子で、到着すると嬉しそうな笑顔で私たちを迎えてくれました。注文通り蛍光灯の交換などを済ませ、私たちはセンターに帰ろうとしました。車に乗った私たちに手を振り、名残惜しそうに見送っていた姿がまぶたに焼きついたのは、私だけだったのでしょうか。



早く女性の隊員でも可能な受注があればと思っていますが、まだまだ皆々様に私たち「さぼーと隊」が認知されていない様ですので、これからは P.R 活動にも力を入れ、少しでも就業支援につながればと考えます。

「桐生シルバーふれあい農園」事業が始まりました

桐生シルバーふれあい農園 園長 大橋 昭雄

本農園は、平成 22 年 4 月 1 日に桐生市と連携し耕作放棄地の解消を目指し、耕作放棄地を借り受け、安心・安全な農作物の生産を行い、合わせて保育園・幼稚園等での地産地消の運動を推進すると共に、ものづくりの喜び、体験学習を実施し農業支援を図ることを目的として事業を開始しました。

耕作状況は、農園会員 30 名の賛同をいただき計画どおり 6 月にさつまいの定植が終わり順調に生育しております。また、8 月にはそばの蒔種を予定しており秋の収穫が楽しみです。農園入会は随時受け付けております。

・役員の紹介

園長 大橋 昭雄
指導員 井田 秋雄
片山 高保
部員 (桐生地区 A)
皆川 一郎
(桐生地区 B)
鈴木 武行
(新里・黒保根地区)
栗原 清

・事業概要

耕作地 桐生市新里町大久保地内他
耕作面積 39 a
農作物 さつまい、そば等



互助会会長就任挨拶

会員互助会会長 池田 精一



残暑きびしき折、公私共に多忙のなか会員の皆様には御健勝にてお過ごしのことと
思います。

さてこの度互助会会長の役を担う事となりました。責任の重き事について、真正
面から受けとめて、四百名以上の会員の皆様の福利厚生事業の更なる充実と、地域
社会に貢献しているシルバー人材センターの発展の為に、全力投球で進んでいき
たいと思っています。皆様の御協力をお願い致します。

『一燈^{いっとう}を提^さげて暗夜^{あんや}を行く。暗夜^{うれ}を憂^うることなかれ。ただ一燈^{いっとう}を頼^{たの}め。』
『佐藤一斎^{げんししろうく}「言志四録」を読む』の引用

勤続十年を振り返る

会員互助会顧問 河内 利夫



平成12年に社団法人桐生市シルバー人材センターに登録をし、第二の人生は職種
を選ばずにチャレンジをしました。

最初の仕事が植木の水やり、2回目が境野水処理センター屋上プールの監視員、第
3回目がニット整理、後に桐生市有隣館に勤務をしながら交通整理や群大寮アパート
室内の清掃をしました。

そして平成18年に桐生市・新里・黒保根が統合しまして、桐生市シルバー人材セ
ンター会員互助会の会長に推薦され、親睦を図る為新里のカリビアン裏のグランドゴ
ルフ場で桐生市・新里・黒保根第1回大会を開き親睦を深め、次回は桐生大橋下での
グランドゴルフ大会で楽しく試合が出来ました。

以来、この4年間に日帰り旅行、一泊旅行、新年会、桐生市文化祭協賛事業参加、
ファッションウィーク参加、また桐生市・みどり市との交流グランドゴルフ大会を行
いました。

また互助会では出来ませんでした、黒保根地区でのグランドゴルフ大会を今年の4
月にGG愛好会で行うことができました。

会員互助会会長4年間在任中は前福田理事長様、本部役員、事務局職員の皆様、互
助会幹事役員の皆様、互助会会員の皆様に支えられ、又、ご協力を頂きながら勤めて
きました。ここに改めて感謝を申し上げます。これからもシルバー人材センター並び
に会員互助会の発展の為に頑張りますので宜しくお願い致します。



作品展を振りかえって

副理事長 津久居 宣夫

恒例になった第62回桐生市文化祭の協賛行事として当センターの作品展が5月13日（木）～16日（日）迄4日間第4回目として河内互助会々長の基、有鄰館味噌醤油蔵で開催されました。昔は矢野商店として大きな問屋さんの倉庫蔵で私も実家が仲町1丁目で染色業であった関係で染料の注文で矢野商店によくいったものです。

さて今回は第4回目とあって作品展の内容も充実し傑作が多く、特に手づくりの会々長山形さんの指導に依り出品された布ぞうり、楊枝入れ、印鑑入れ、花瓶入れ等これが手づくりかとりっぱなものが多く、又昨年写真部が結成され会長田村陽子さんの高津戸峡・上高地、星野昌子さんのおかめ桜・おかく桜、桑子勝司さんの八ッ場ダム・黒部の霜の立山どれを見てもりっぱなものばかり、他にも、俳句、短歌、水彩画、墨工芸、生け花、書道、竹工芸、盆栽、流木、その他まだまだたくさん出品された会員の皆さんにお礼を一言。会場はお祭ハッピー姿の役員さんの案内で来場したお客様も楽しく見学でき心よく入場記録にサインされ、帰りには河内会長が丹精込めて作った鉢植の草花が贈られ、お客さまに桐生シルバーへの一層の理解が深まり、来年も尚一層良い作品展ができるよう皆なで頑張りたいと思います。

「シルバー祭り」のお知らせ！

期 日 平成22年11月7日（日）雨天決行
時 間 午前9時～午後3時まで
場 所 桐生市シルバー人材センター敷地内（本所）
駐車場：桐高校内西側・桐高裏桐生市職員駐車場

★模擬店

- ・焼きそば
- ・焼きまんじゅう
- ・フランクフルト
- ・味噌おでん



上記の食券（1セット500円）を9/1より販売いたします。

（本所、新里支所、黒保根支所）

★アトラクション

- ・桐生市立境野中学校吹奏楽部による演奏
11時30分～12時00分

- ★その他、手づくりの会・シルバー農園等参加予定
皆様のご来場をお待ちしております。



趣味の手づくり品が販売事業に！

手づくりの会会長 山形 高子

今年1月から試験的に桐生織物観光センター様にて展示販売を始めてから半年になりました。最初の頃の布ぞうりについては形だけは出来ているものの粗削りな状態だったのが見受けられましたが、今は完璧とは言えないまでも何処か目をひくものが有ります。局長様始め皆様の協力により6月から黒保根町の道の駅「やまびこ」様の方へも展示販売する事が出来るようになりました。

現在袋物、工芸品、一輪ざし、布ぞうり、などなど全30種類ほど展示販売しています。個性豊かな作品も多く、販売の方も少しずつですが伸びて来ています。近くに出かけた節には一度立ち寄って見て下さい。桐生シルバーセンターの幟旗が目印になっています。

皆様の趣味や経験を活かした新しい作品の応募のご協力をお願い致します。

安全委員会より 委員長 河内 利夫

- (1) 安全自己管理、安全の確保は最優先
- (2) 無理せず健康管理に留意して、仕事にたいして安全第一に心掛けてください

リサイクル友の会より

報告とお知らせ

リサイクル友の会会長 池澤 順子

昨年度から再生可能なゴミを集団回収し、ゴミの減量化を図るとともに資源を有効に活用する目的でリサイクル友の会が誕生しました。5回の総重量が6,644キロになり、1キロにつき4.5円の補助が出ますので、桐生市から29,896円、藤田商店から26,450円、合計で56,346円の収益でした。これも会員の皆様のご協力のたまものと感謝しております。使途につきましては、互助会で後日相談の予定です。

なお、22年度は特に期間を定めず随時、規定の場所に持ってきていただくことにしました。

資源が集まり次第、ボランティア・クラブのメンバーが処理致します。昨年に勝る皆様のご協力をお願いいたします。

会員のお悔やみ

金子 幸雄さん (相生町)

平成二十二年二月二十八日

藤井 光二さん (相生町)

平成二十二年六月十一日

丹羽 一夫さん (広沢町)

平成二十二年七月六日

謹んでいっ冥福をお祈り申し上げます。



編集後記

広報のメンバーが変わりイロイロ大変でしたが、田村理事長及び事務局のお教えを受け、ようやく出来あがりました。

何分不慣れの為ゆき届きませんが、精進して行きます。 一星野・鷹野・藤井・針谷一

シルバーきりゅう 第41号

平成22年8月25日発行

編集発行 (社) 桐生市シルバー人材センター
広報委員会

桐生市美原町5番3号

TEL0277-43-9161(代) FAX0277-43-9162